

## 【注意事項】

R20TS0569JC0100

Rev.1.00

2020.04.16 号

## RH850 スマート・コンフィグレータ

## 概要

RH850 スマート・コンフィグレータの使用上の注意事項を連絡します。

## 1. CSI マスタおよび CSI スレーブを使用する場合の注意事項

## 1. CSI マスタおよび CSI スレーブを使用する場合の注意事項

## 1.1 該当製品

RH850 スマート・コンフィグレータ V1.1.0 以降

## 1.2 該当デバイス

RH850 ファミリ : RH850/F1KM グループ

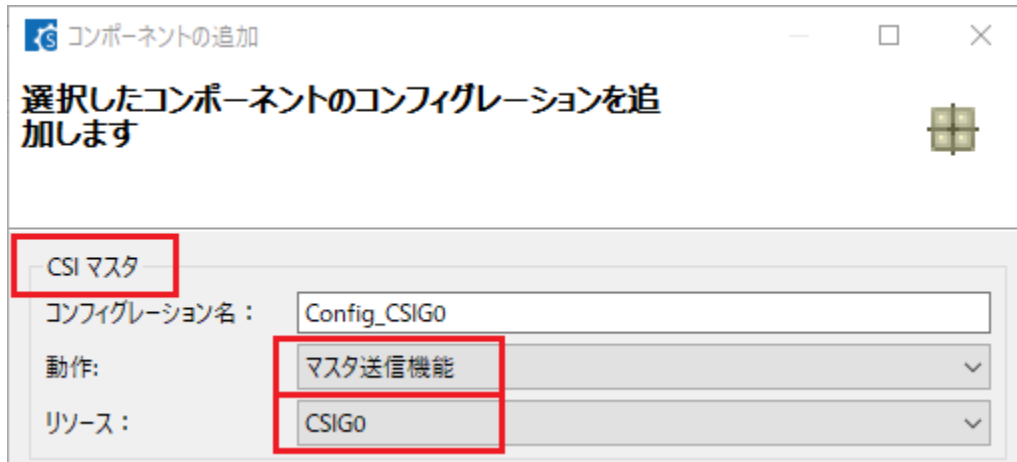
- RH850/F1KM-S1 : 48 ピン、64 ピン、80 ピン、および 100 ピン製品
- RH850/F1KM-S4 : 100 ピン、144 ピン、176 ピン、および 233 ピン製品

## 1.3 内容

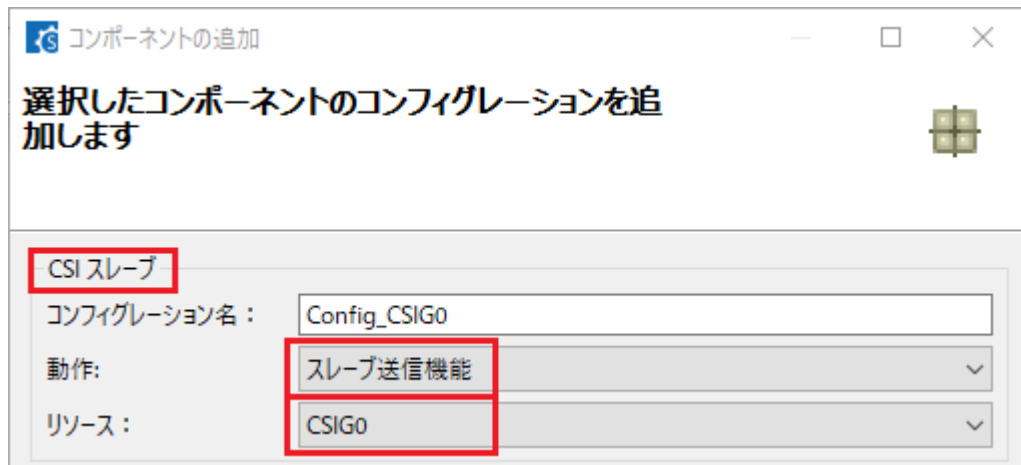
以下の周辺機能で CSI マスタまたは CSI スレーブを送信モードまたは送受信モードで使用する場合、CSIGnSO および CSIHmSO の端子設定コードに誤りがあり、データが正しく送信されません。

- RH850/F1KM-S1 : 48 ピンおよび 64 ピン製品  
CSIG0
- RH850/F1KM-S1 : 80 ピン製品  
CSIG0, CSIH2
- RH850/F1KM-S1 : 100 ピン製品  
CSIG0, CSIH2, CSIH3
- RH850/F1KM-S4 : 100 ピン製品  
CSIG0, CSIH2, CSIH3
- RH850/F1KM-S4 : 144 ピン、176 ピンおよび 233 ピン製品  
CSIG0, CSIG1, CSIH2, CSIH3

■ CSI マスタを使用する場合



■ CSI スレーブを使用する場合



1.4 回避策

以下のソースファイルにある CSIGnSO および CSIHmSO 端子設定用生成コードを手動で修正してください<sup>(注)</sup>。

- ・ ソースファイル：“<コンフィグレーション名>.c”。
- ・ 関数：“void R\_<コンフィグレーション名>\_Create(void)”

注：生成コードは、再度コード生成を行うと修正前の状態に戻りますので、ソースファイルの修正はコード生成を行う度に実施してください。

次の表に誤ったコードと正しいコードを示します。

端子名	“void R_<コンフィグレーション名>_Create(void)”関数内の端子設定コード	
CSIG0SO (P10_6)	誤ったコード	PORT.PDSC10 = (tmp_port   <b>_PORT_SET_BIT7</b> ); PORT.PDSC10 = (uint32_t) ~(tmp_port   <b>_PORT_SET_BIT7</b> ); PORT.PDSC10 = (tmp_port   <b>_PORT_SET_BIT7</b> );
	正しいコード	PORT.PDSC10 = (tmp_port   <b>_PORT_SET_BIT6</b> ); PORT.PDSC10 = (uint32_t) ~(tmp_port   <b>_PORT_SET_BIT6</b> ); PORT.PDSC10 = (tmp_port   <b>_PORT_SET_BIT6</b> );
CSIG1SO (P11_9)	誤ったコード	PORT. <b>PIPC10</b>  = _PORT_SET_BIT9;
	正しいコード	PORT. <b>PIPC11</b>  = _PORT_SET_BIT9;
CSIH2SO (P11_2)	誤ったコード	tmp_port = PORT. <b>PDSC10</b> ;
	正しいコード	tmp_port = PORT. <b>PDSC11</b> ;
CSIH3SO (P11_6)	誤ったコード	tmp_port = PORT. <b>PDSC10</b> ;
	正しいコード	tmp_port = PORT. <b>PDSC11</b> ;

以下に RH850/F1KM グループで<コンフィグレーション名>が Config\_CSIG0 の場合の必要な修正例を記します。赤文字の誤ったコードを青文字の正しいコードに手動で修正してください。

修正前

```

void R_Config_CSIG0_Create(void)
{
    ...
    /* Set CSIG0SO pin */
    PORT.PIBC10 &= _PORT_CLEAR_BIT6;
    PORT.PBDC10 &= _PORT_CLEAR_BIT6;
    PORT.PM10 |= _PORT_SET_BIT6;
    PORT.PMC10 &= _PORT_CLEAR_BIT6;
    PORT.PIPC10 &= _PORT_CLEAR_BIT6;
    tmp_port = PORT.PDSC10;
    PORT.PPCMD10 = _WRITE_PROTECT_COMMAND;
    PORT.PDSC10 = (tmp_port | _PORT_SET_BIT7);
    PORT.PDSC10 = (uint32_t) ~(tmp_port | _PORT_SET_BIT7);
    PORT.PDSC10 = (tmp_port | _PORT_SET_BIT7);
    PORT.PFC10 |= _PORT_SET_BIT6;
    PORT.PFCE10 &= _PORT_CLEAR_BIT6;
    PORT.PFCAE10 &= _PORT_CLEAR_BIT6;
    PORT.PIPC10 |= _PORT_SET_BIT6;
    PORT.PMC10 |= _PORT_SET_BIT6;
    ...
}

```

## 修正後

```
void R_Config_CSIG0_Create(void)
{
    ...
    /* Set CSIG0SO pin */
    PORT.PIBC10 &= _PORT_CLEAR_BIT6;
    PORT.PBDC10 &= _PORT_CLEAR_BIT6;
    PORT.PM10 |= _PORT_SET_BIT6;
    PORT.PMC10 &= _PORT_CLEAR_BIT6;
    PORT.PIPC10 &= _PORT_CLEAR_BIT6;
    tmp_port = PORT.PDSC10;
    PORT.PPCMD10 = _WRITE_PROTECT_COMMAND;
    PORT.PDSC10 = (tmp_port | _PORT_SET_BIT6);
    PORT.PDSC10 = (uint32_t) ~(tmp_port | _PORT_SET_BIT6);
    PORT.PDSC10 = (tmp_port | _PORT_SET_BIT6);
    PORT.PFC10 |= _PORT_SET_BIT6;
    PORT.PFCE10 &= _PORT_CLEAR_BIT6;
    PORT.PFCAE10 &= _PORT_CLEAR_BIT6;
    PORT.PIPC10 |= _PORT_SET_BIT6;
    PORT.PMC10 |= _PORT_SET_BIT6;
    ...
}
```

## 1.5 恒久対策

今後のバージョンで改修予定です。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Apr.16.20	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したものです。誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

[www.renesas.com](http://www.renesas.com)

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

[www.renesas.com/contact/](http://www.renesas.com/contact/)

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。